

2020年10月
函館海上保安部

函館市防災総合訓練への参加
～函館市防災会議主催、関係26機関が集結～

令和2年（2020年）10月13日（火）午前中、函館港・港町ふ頭及び前面海域において、令和2年度函館市防災総合訓練が行われ、海上保安庁からは、函館海上保安部、函館航空基地が参加しました。

前日夜の驟雨により、空気中の塵やゴミなどがきれいに一掃されたのか、訓練当日、函館市中心部の天気は晴れ、澄み渡った青空のもと気温は20度まで上昇、同時に西北西の風9メートルと海上は白波が立つ中、函館周辺に存在する26関係機関が参加し、訓練が行われました。

今回の訓練は、訓練開始時刻である10月13日午前9時30分、地震が発生、北海道十勝沖を震源とするマグニチュード8.0の地震と推定され、函館では震度5強が観測、北海道太平洋沿岸西部に大津波警報が発表、これにより、海上では津波によって数隻の小型漁船が転覆、乗組員が海中に投げ出され、陸上ではビルや家屋も崩壊するとともに交通事故などにより市内各地で負傷者が多数発生という想定で始められました。

訓練は2時間に及び、大きく分ければ7項目で構成されました。①地震発生の情報伝達訓練から始まり、まずは②海上での行方不明者捜索訓練、③海上での救出・救助訓練、④海上での救護・搬送訓練が行われ、陸上部の訓練として⑤陸上での救出・救助訓練、⑥陸上での救護・搬送訓練、最後に緊急時対応の次に求められる⑦ライフライン復旧等訓練へと続き、海上保安庁では、②と③を主導しました。





毎年行われている函館市による防災訓練は、昨年度は天候悪化のため中止になり今回は2年ぶり、また新型コロナの影響で一般市民の参加は見送られ、関係機関を主とした前回に比べればコンパクトな形で行われました。あらためて地震災害発生時における函館市全体の動きの中で、関係機関とともにそれぞれの役割を確認する機会となりました。